

## 学会

### 国際学会（一般演題）

1. Kazuya Okamura, Leah Waltrip, Ayako Kawatake-Kuno, Abby Lidoski, Michael Leventhal, Lucy K. Bicks, Justin Riceberg, Yury Garkun, Tadaaki Nishioka, Brandon Stevens, Schahram Akbarian, Daniel Geschwind, Hirofumi Morishita. NEURO2024. 2024. 7. 26.

### 国内学会（シンポジウム）

1. 岡村和哉：若手研究者育成プログラム奨励賞受賞者講演 新たな動物研究環境の立ち上げと社会制御基盤の解明に向けて. NEURO2024 若手研究者育成プログラム奨励賞受賞者講演. 福岡, 2024. 7. 26.
2. 石田卓也：安静時 fMRI 解析から明らかになったうつ病の rTMS 治療機序の推定. 第 54 回日本臨床神経生理学会学術大会. 札幌, 2024. 10. 24-26.

### 国内学会（一般演題・ポスター）

1. 池原実伸, 奥村和生, 高田涼平, 西佑記, 藤本侑花, 法山勇樹, 小森崇史, 岡村和哉, 岡田俊:奈良県立医科大学高度救命救急センターへ搬送された自殺企図者の精神医学的評価. 第 120 回日本精神神経学会学術総会. 神戸, 2024. 6. 21.
2. 平田真之将:有田市立病院の受診患者における軽度認知障害におけるメタボ・痩せと認知機能の関連. 第 120 回日本精神神経学会学術総会. 神戸, 2024. 6. 21.
3. 北野陽大:過量服薬で当院に搬送された患者背景の変化:企図の若年化と市販薬の増加. 第 120 回日本精神神経学会学術総会. 神戸, 2024. 6. 21.
4. Takuya Ishida, Shinichi Yamada, Kasumi Yasuda, Shinya Uenishi, Atsushi Tamaki, Michiyo Tabata, Natsuko Ikeda, Shun Takahashi, Sohei Kimoto, Aberrant brain dynamics of large-scale functional networks across schizophrenia and mood disorder . 第 46 回日本生物学的精神医学会年会. 福岡, 2024. 7.
5. 古田貴大:残遺型統合失調症患者の逸脱行為に対して認知行動療法を行った 1 例. 第 134 回近畿精神神経学会. 堺市, 2024. 7. 20.
6. 安藤舜二:強迫症状を併存する統合失調症患者にアリピプラゾール持続性注射剤とパロキセチンの併用療法が有効であった 1 例. 第 134 回近畿精神神経学会. 堺市, 2024. 7. 20.
7. 福島カケイ:初期症状が若年性アルツハイマー型認知症に類似していた進行性核上性麻痺の 1 例. 第 134 回近畿精神神経学会. 堺市, 2024. 7. 20.
8. 池原実伸, 高田涼平, 西佑記, 小森崇史, 岡村和哉, 藤本侑花, 奥村和生, 村井珠美, 吉川碧, 白石愛実, 元吉浩司, 岡田俊:奈良県立医科大学高度救命救急センターへ搬送された自殺企図者の特徴と傾向 10 年間の分析. 第 48 回日本自殺予防学会総会・第 29 回日本臨床死生学会総会合同大会. 埼玉, 2024. 9. 14.
9. 喜多彬, 石田卓也・玉置敦之・紀本創兵:安静時機能的磁気共鳴画像法を用いたうつ病に対する rTMS 療法の機序の推定. 第 92 回和歌山医学会総会. 和歌山, 2024. 9.
10. 桐村直樹:和歌山県立医科大学付属病院における一般用医薬品の過量服薬患者の後方視的調査. 第 43 回日本精神科診断学会. 神戸, 2024. 9. 21.

11. 本多祐也, 高田涼平, 西佑記, 福井裕明, 山口泰成, 水井亮, 神川浩平, 岡村和哉, 岡田俊 : 奈良県立医科大学精神科の静脈血栓塞栓症への予防的取り組み 身体拘束に与える影響. 第 37 回日本総合病院精神医学会総会. 熊本, 2024. 11. 29.
12. 奥平和也, 高橋隼, 上西優介, 紀本創兵: ECT 前後の血清炎症指標の変化と治療後の再発との関連: 1 年間の前向き追跡研究. 第 37 回日本総合病院精神医学会総会. 熊本, 2024. 11. 29.
13. 藤内拳士郎: 歯状核淡蒼球赤核ルイ体萎縮症による多彩な精神症状に対しクエチアピンが奏効した 1 例. 第 135 回近畿精神神経学会. 奈良, 2025. 2. 8.